



平成22年11月12日

各位

上場会社名 日本風力開発株式会社
 代表者 代表取締役社長 塚脇 正幸
 (コード番号 2766)
 問合せ先責任者 代表取締役専務 小田 耕太郎
 (TEL 03-3519-7250)

平成23年3月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正(無配)に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月12日及び平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。合わせて、期末配当予想の修正(無配)につきましてもお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|---------|---------|--------|---------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 38,000 | 8,000 | 6,000 | 4,500 | 29,981.01 |
| 今回発表予想(B) | 5,700 | △2,100 | △3,500 | △6,400 | △42,639.66 |
| 増減額(B-A) | △32,300 | △10,100 | △9,500 | △10,900 | |
| 増減率(%) | △85.0 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成22年3月期) | 5,112 | △784 | △2,406 | △2,394 | △17,763.96 |

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|---------|--------|--------|---------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 33,200 | 7,300 | 7,700 | 6,300 | 41,973.42 |
| 今回発表予想(B) | 1,100 | △1,700 | △1,300 | △3,700 | △24,651.05 |
| 増減額(B-A) | △32,100 | △9,000 | △9,000 | △10,000 | |
| 増減率(%) | △96.7 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成22年3月期) | 2,059 | △1,109 | △1,113 | △1,071 | △7,945.31 |

修正の理由

(連結)

当社は従来より政府による新エネルギー導入に対する補助金を活用した風力発電事業の展開を行って参りましたが、昨年後半以降、補助金の新規募集の中止、続いて補助金制度自体の廃止という事態に直面致しました。一方、政府としての自然エネルギー導入の高い目標値を実現するため補助金制度に代替する再生可能エネルギー全量固定価格買取制度の導入が同時に検討されてきましたが、補助金制度の縮小廃止と全量固定価格買取制度の導入に大きな時間的なギャップが生じておるのが現状であります。ここに国内の風力発電業界は新規の開発案件が軒並み足踏みをするという事態に陥っており、現在、議論されている全量固定価格買取制度の行方を見守っているところでございます。

こうした環境下、当社創業来のビジネスモデルも大きく変革していかざるを得ない状況であります。

当社は、青森県六ヶ所村における蓄電池併設型風力発電所の設置・運営を通じて、変動する電力の需要と供給を蓄電池で瞬時制御する技術(以降「スマートグリッド技術」という)を習得してまいりました。現下の事業環境の激変を受けて、このスマートグリッド技術そのものを商材とした市場開拓を前年度より懸命に試みた結果、海外において、電力需要の急激な拡大に伴う不安定な系統運用に課題を持つ国々や地域、或いは、不規則な出力を持つ自然エネルギーの大量導入を図りその出力の有効な制御技術を必要としている国々が、当社の技術に強い関心を示しており、平成22年3月にはマレーシアにおけるスマートグリッドシステムの受注を獲得いたしました。

しかしながら平成22年6月に発生いたしました当社の会計監査人変更、有価証券報告書の提出遅延による監理銘柄(確認)指定等の影響によって、販売先の商社と最終納入先であるマレーシア政府との交渉支援に注力できる十分な体制をとることができず、マレーシア政府との間での納入・設置の契約・手続きが遅延しております。その結果、当初予定の平成23年3月期第3四半期のシステムの稼働検収が遅れる見込みとなり、平成22年3月30日に発表いたしましたマレーシアでのスマートグリッド蓄電制御システムの受注に関する売上につきましては、平成24年3月期の売上計上となる見通しとなってきております。

また当初今期計上見込みであったその他の大口海外案件の進捗も、上記の影響で遅延をしております。その結果、平成

23年3月期売上高予想38,000百万円のうち32,000百万円を占めていた海外売上高を今期予想数字からは除外することと致しました。

また、今上期中に新たな案件として、スコットランド向け蓄電制御パイロットプラント(3億円相当)の受注をしておりますが、売上計上時期につきましてはシステムの稼働検収時となるため、来期の売上となることを見込んでおります。

売電売上セグメントにつきましては、風況は例年比若干の低下となっているものの、電力個別販売における電力単価の改善により、電力の販売については予想通りに推移する見通しでございます。風力発電機メンテナンス事業におきましては、再生可能エネルギーの全量固定買取制度の進展による外部受注の増加を見込んでおりましたが、現時点では制度の確定時期が不透明なこともあり、外部受注に遅れが生じております。

結果として、平成23年3月期連結業績につきまして、売上高が当初予想を大きく下回ることを主因としまして、営業利益、経常利益、当期純利益の各利益段階においても予想を大きく下回る予定です。

(個別)

個別業績につきましては、連結業績と同様の理由で、海外売上の進捗の遅れにより、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益において予想を大きく下回る予定です。

尚、上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

● 配当予想の修正について

| | 年間配当金 | | | | |
|------------------------|--------|--------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前回予想 (平成22年5月14日発表) | — | 0.00 | — | 2,000.00 | 2,000.00 |
| 今回修正予想 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 当期実績 | — | 0.00 | — | | |
| 前期(平成22年3月期)実績 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |

修正の理由

前記海外売上の遅延に伴う業績下方修正の通り、平成23年3月期は大幅な赤字となる見通しでございます。誠に遺憾ながら、期末の配当は見送る予定とさせていただきます。

以 上